

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 ・「確かな学び」:他者の意見を聞き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども / 「豊かな心」:正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども / 「健やかな体」:心身の健康をはぐくみ、自他の生命を大切にできる子ども

令和7年度 重点目標

『子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、多様な他者と協同しながら、社会の変化に柔軟に対応できるよう、保護者・地域・学校が一体となり総合的な学力を育成する』

Table with 2 columns: 確かな学びの現状 (Current status of solid learning) and 豊かな心・健やかな体の現状 (Current status of a rich heart and healthy body). Both describe school activities and student development.

Main evaluation table with columns: 大項目 (Major Item), 中項目 (Sub-Item), 具体目標 (Specific Goal), 具体的な取組 (Specific Measures), 判断基準 (Judgment Criteria), 評価方法 (Evaluation Method), 評価時期 (Evaluation Period), 進捗確認 (Progress Confirmation), 達成状況 (達成状況 (年度末)) (Achievement Status (Year-end)), 自己評価 (Self-evaluation), 学校関係者評価 (Stakeholder Evaluation).

校長より(年度末) [確かな学び] 自分で考え、他の生徒と一緒に学びを深める生徒の姿が見られ、校内研修の成果として主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業づくりができた。 [豊かな心・健やかな体] 授業はもちろん、文化的・体育的行事での生徒主体の活動や仲間づくりを育む取組をさらに充実させたい。また、道徳授業や人権学習・いじめアンケートなどから子どもの声に耳を傾け、より丁寧な教育相談を充実させたい。 [地域協働] 開かれた学校を目指し、tetoruや学校ホームページ等を活用し、積極的に情報発信を続けることができた。時間外滞在時間の減少は、減少傾向にあるものの教員一人ひとりが意識をもって取組み続けていきたい。

学校関係者評価者から(年度末) 教育環境が大きく変わる中でも、温かい計画と指導で子どもたちを育てている先生方に敬意を感じる。行事で生徒を応援し見守る姿に感動し、学校運営にも特に問題はなく、校長先生をはじめ教職員の努力が成果として現れていると感じている。